

会津磐梯山の自然水
世清水

●1.5ℓボトル……350円
●20ℓボックス3,500円

お求めは、郡山駅食品館ピポット内「マルシェワールド」まで
☎31-3884

郡山市内毎週10万部発行!

週刊郡山

ザウイクル

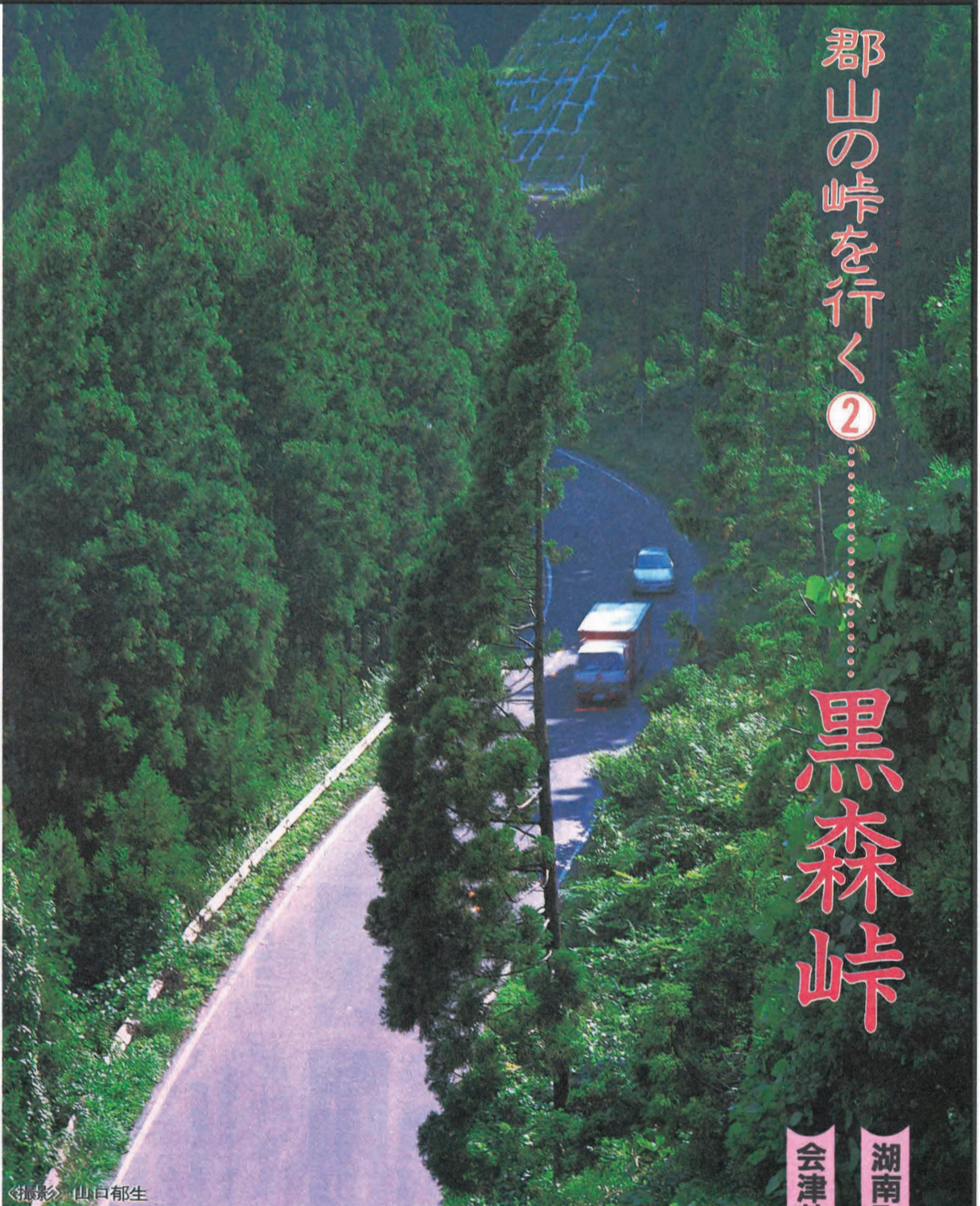
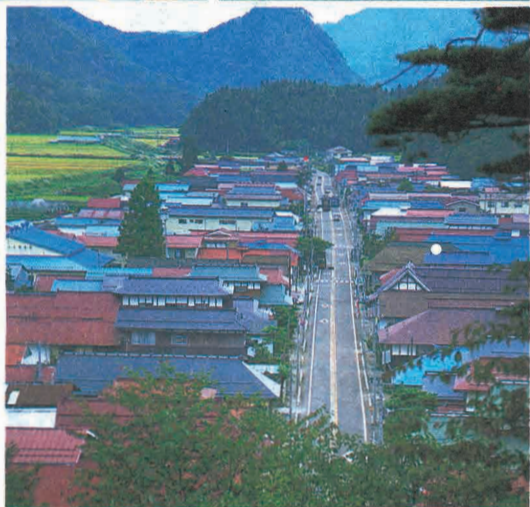
発行所/週刊郡山社〒963-02郡山市柏山町3番地企画室・コア内 ☎(0249)61-7722 FAX(0249)52-6788(代表/広告・編集) 週刊・無料

NEO CLUB

わたしたちのクレジットカード——
分割払いがチャームポイント
福島信販 ☎0249(32)6464



(右上) 峠より赤津の集落をのぞむ
(左上) 会津若松市湊町高坂の集落
(右下) 湖南町赤津の町並み



郡山の峠を行く ②

黒森峠

湖南町 赤津 から
会津若松市湊町へ

撮影 山口郁生

郡山市湖南町赤津と会津若松市湊町高坂の境が黒森峠。標高630mが頂上です。「咽究」と言われた峠みちが広がったのは天正18年。豊臣秀吉が伊達政宗に命じ、その年の8月、秀吉会津入りの時は、どうにか、かこて通れたといいます。昭和49年、会津若松から湖南町・羽鳥・白河経由で栃木県に抜ける国道294号線の昇格が決まり、昭和51年に舗装工事が完了しました。とはいえ、あいかわらず道幅は狭く、峠の頂上までヘアピン・カーブの連続。これでは不便で危険と、郡山市でも会津若松市でも目下黒森峠の整備促進

峠の花嫁さん

運動が盛り上っております。昔、命づな、今へアピンカーブではね。今こそ郡山市ですが、湖南町の赤津・福良・三代の集落は旧会津領とあって、歴史的には会津若松市との往来が多かったといえます。会津バスは、今でも294号線を通って、赤津から上戸・福良・若松間を走っています。モーターゼーションの進展でバス利用者は年々減っていますが、中・高校生の通学には欠かせない足として活躍。冬なんか、雪は難儀でも、眺めはいいんだろ

黒森峠は、かつて「咽究」と呼ばれていました。切り立った岩壁が両側から迫り、人が二人、並んでは通れなかったほど、せまく険しい峠だったからです。咽究のどのつまり。ちょっとコワイ感じもします。でも、昔の峠みちなんてほとんどが、のどのつまりであつたり、鼻の奥みちであつたりだったのしょう。空気がえ身をこごめて通るほどの……そうした難所であつて、小さい交流もたいへんに貴重で、むさぼるようであつたと思われまふ。そして、どんな狭いところでも辿ってゆく人の情なのでした。

うとちよびり羨ましい。峠をはさんで、会津若松の湊町と、湖南の赤津・福良地区は昔からの通婚圏になっているのも知られていいます。お互いに嫁をもらったり、嫁に行つたりの関係が現在まで続き、二重三重の親せきになっている家も多いそう。峠を越えてお嫁入り。映画のシーンをみるような。そんなわけで、湖南の赤津地区のお年寄りたちは、郡山弁より会津弁を話す。文化圏も今津色が強いといえます。三森峠の整備などで、会津から郡山へ流れは大きく変わりつつあります。

ハリキリママ 待望の ライセンス取得

小さなお子様がいても
ラクラク教習。
安心して「西部」に
おまかせください。



広いコースでらくらく教習

便利です

ご自宅と西部の往復は、スクールバスをご利用ください。市内循環をはじめ日方面。

安心です

ちっちゃなお子様は、ひろびろ託児室で専任の保育がお相手。

お待ちしません

教習時間の予約や配車は、カードを使ってワンタッチでOKの、コンピュータシステムが好評です。

クレジットでラクラク

お支払いは、月々1万円ぐらいでOKです。

本物のドライバーを育てる

西部自動車学校
〒963 郡山市西ノ内2-11-35 ☎0249(32)1600代